

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2291200034		
法人名	株式会社 ユニマツ リタイアメント・コミュニティ		
事業所名	御殿場ケアセンターそよ風 箱根ユニット		
所在地	静岡県御殿場市萩原122-13		
自己評価作成日	平成28年11月30日	評価結果市町村受理日	平成29年2月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kairokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JirvosvoCd=2291200034-008&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kairokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JirvosvoCd=2291200034-008&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	平成28年12月11日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

食事は、バランスや利用者様の好みを考え、お一人おひとりにあった形状で提供させていただいています。食事量の減っている方には高カロリー食品などを適宜ご提供し体力低下防止に努めています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

バルコニーが建物を囲むように取り付けられ、富士ユニットからは雄々しい富士の山が迫り、また目の前に在る託児所からは愛らしい声が届いています。ドリップ式の珈琲の香りが立ち込めたリビングでは、「静岡の人は舌が肥えているから」と前管理者時代から導入した味わい深い小野園の高級茶やゆず茶もゆめ、また職員がそれぞれお気に入りのエプロンを装着することから利用者も絵柄で覚えての和みの空間が広がります。今年度は「食事による健康管理」を重点的な取組みとしていて、正しい姿勢をとることで誤嚥を減らし、高栄養による身体づくりに励み、「風邪による体調不良が例年より減る」との結果につながっています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で作った理念を共有し、実践に繋げている。	理念に基づき本年は「食による健康管理」に連なる「形状・姿勢＝誤嚥予防」「栄養バランス・カロリー＝体力増強」に注視し取り組み、風邪の罹患者もなく、職員から「この入量が減っているけど、どうしようか」といった声があがるようになったことも成果の一つです。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域行事には、できる範囲で参加させて頂いている。近隣の方とは、散歩など外出の際に日常的に挨拶を交わしている。	地区のふれあい祭りには利用者の作品が並ぶことが恒例となっており、スペースも十分用意してもらっています。またクリスマスや七夕といった季節行事には階下のデイサービスに託児所の子どもたちが訪れており、利用者も満喫しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括や民生委員さんを通じて、地域の活動に役立てることはないかを話し合い、取り組んでいる。また家族会などでは、介助方法や認知症の方の対応などを相談されることもあり、答えている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヶ月に一度必ず開催し、現状報告、話し合いを行い、サービス向上に活かしている。	隔月第二土曜日を開催日と定めることで行政と地域、家族から万遍なく参加が得られ、民生委員からは地域防災に係る事柄の説明があり、「欠席の区長にも伝える」と明言があることから、運営推進会議が有意義に働いていることが視えます。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市役所は近隣にある為、日頃から連絡を取り、わからない事、協力してもらいたい事などを伝え、関係を築いている。	運営推進会議は土曜日の夕方開催であっても市役所と地域包括支援センターが交替で快く出席くださるという親身さで、大変助けられています。事業所でも平均介護度や空き情報を3ヶ月に1度FAXで報告しています。またグループホーム連絡会も開催があれば調整のうえ参加しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部研修を積極的に受け、内部研修で職員全員への落とし込みを行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎年県の研修会から新たな学びを積極的に取り入れて知識の標準化を進め、ヒヤリハットは月15件前後と念入りにあげられ、ここ数年事故発生率もゼロです。箱根ユニットは2階にもかかわらず夜間施錠もなく、富士の施錠(利用者の症状から)については省みる時間を都度設けています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修を積極的に受け、内部研修で職員全員への落とし込みを行い、虐待防止に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修会への参加、施設内の勉強会などで話し合い、理解を深められるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約、改定等は、十分に説明し理解していただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や運営推進会議などで話し合い、運営に反映している。	ユニット毎に写真入りの「箱根たより」「富士たより」を年4回発行して安心を届け、また年3回の家族会(内2回は運営推進会議と併催)では、「食べられるようになった」「笑顔が増えた」「だから面会も楽しい」との嬉しい言葉をもらえています。	「富士たより」に発行日(年、月、号など)を記載することで、家族が後日に閲覧した際の参考となることを期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議、ユニット会議などで話し合い、運営に反映している。	併設事業所と合同の「全体会議」では法人レベルの情報、「グループホーム会議」は研修や行事など、「ユニット会議」はカンファレンス中心にと話し合いの場があります。定着率が高く、言いやすい関係にあるためか会議以外でも日々意見がでています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に数回の個別面談を行い、個々の努力、実績などを話し合い、向上心を持って働けるよう、評価をしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修を受け、施設に持ち帰った資料を配布し施設内研修で落とし込みを行い、知識を深めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の研修、会議に参加したり、市主催の連絡会などに参加し相互古流を行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人が困っている事、不安な事、要望等を聞き安心した生活ができるよう、関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の困りごとや不安に思っている事に耳を傾け、要望等に応えられるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、計画作成担当者がご本人の必要としているサービスを見極め、サービスを検討している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的な介護ではなく、共同生活の中で関係を築けるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族からの情報を頂き、ご本人の状況を報告しながら、共にご本人を支えていく関係を築けるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や友人などの面会は制限せず、いつでも来ていただいている。	墓参には家族が付添い、法事や正月に一時帰宅する利用者もいます。日常では家事全般を職員の補助で続けることで今でも包丁を握れる人や、事業所できている静岡新聞と岳麓新聞を読まれ、死亡欄で友人や知り合いの安否を確認するのが日課という人もいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりが孤立せず、関わり合い、支え合えるような支援に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても必要に応じて、ご本人やご家族のフォローを行い、相談、支援に努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや要望は、日常の会話から聴き、実現に努めている。職員間の情報共有を行っている。	職員が子どもの絵本や読み終わった雑誌を自宅から持ち込んだり、一緒にスーパーマーケットに並ぶ食材や菓子を選んでもらうことで、利用者に適度な刺激となり、想いや意向把握につなげていて、介護記録にも記載して残しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族、ご本人からの情報で把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身状態、有する力等の把握に努め、職員間で情報共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族、関係者と話し合い、それぞれの意見を反映し介護計画書を作成している。	サービス内容に具体的な行動が少なく、ピンポイントで要約されていて「長く働く職員ばかり」だからその介護計画書です。共有するユニット会議を兼ねたサービス担当者会議であり、家族の参加はないため事前に意見聴取をおこない、面会で説明のうえ押印をもらっています。	(できていくとは思いますが)新人がはいったときは、少し文言を加えたり、別のフォローシートを用意することを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月に一度の支援経過、3ヶ月毎のモニタリングを元に職員間で話し合い、計画書の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族の要望、意向に沿った形で柔軟に支援に努めている。		

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人、ご家族や近隣の民生委員さん、地域包括から情報を提供していただき、地域行事に参加、交流させていただいている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の訪問診療があり、日々の健康管理ができています。また、かかりつけ医への受診は、ご家族が対応されているが行けない時には管理者が対応している。	協力医である総合病院の医師による訪問診療には、地域連携を担当する看護師が同行くださるため事業所としては大変心強く、質問や相談の裾野も広く、院内連携もスムーズで恩恵を受けています。階下に看護師も常駐しており、急ぎアドバイスをもらえる環境にあります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	DSと兼務の看護師がいるので、個々の状況を伝えて対応してもらっている。また協力病院の担当看護師が急な受診など対応してもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力病院に担当看護師、SWとの情報交換を密に行い、治療内容、退院時期、退院後の対応など細かく伝えてもらうなど、良好な関係ができています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に十分に説明している。終末期のあり方についても状況に応じ、話し合っている。必要に応じ、往診時にご家族に同席していただき、Dr.に説明していただいている。	「看取りはおこなわない」ではなく「出来る限りここで」という方針ですが、医療行為が必要となったり救急搬送での退所が続いています。ただし、看護師も同じ建物にいたることから、退院後の点滴を受け入れた例もあります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルは掲示しており、年に数回研修を行っている。毎年、数名が救命講習を受けられるようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練、地域の防災訓練にも参加させていただいている。	「エレベータが動かない」という想定で、内階段、外階段を避難経路として、夜間・火災・水害・地震と年4回取り組んでいます。リスクを鑑み職員同士ですが、シーツにくるんで運ぶ人、運ばれる人になる模擬訓練で実践的におこない、また地域の防災訓練には車いすの人も参加しています。	日程が合えば防災業者の立ち合いがあるとのことですが、今後は消防署へも依頼して専門的な助言を得ることを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけ、対応に努めている。	接遇や個人情報保護の内部研修がおこなわれ、本年は特に守秘義務について重点的に確認し合っています。事務室には来客対応マニュアルが下がり、他の事業所であった事例から心配される電話対応への注意喚起が法人からもあったりと、全体で本件に向き合っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いを受け止め、自己決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、個々の希望に沿った過ごし方を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時、外出時など整容の支援、定期的に散髪なども行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の好みなどを聞き、また、季節のものやバランスを考え提供している。出来る方には、一緒に調理していただき、食事、片付けも一緒にやっている。	月～土のランチは階下のデイサービスから届き、他はユニット毎にメニューも替えて調理していません。食費はやや高めの設定ですが、外食店舗でだされるかのような豪華献立で、「食で健康管理」は充分領けます。台拭きや食器拭きを役割を感じて取り組む利用者もいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は毎食記録し、栄養バランスを考えた食事を提供している。一人ひとりに合わせた形状と食事量の減っている方には、高カロリー食品、むせのある方にはゼリー飲料を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは行っている。出来ない方は介助し、義歯は毎夜消毒している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりに合わせたトイレ誘導、介助を行って不快なく過ごしていただけるように支援している。	2畳ほどもある広いトイレは車いすが必要となった人の介助も比較的スムーズです。また肘掛と背もたれが備わり、長時間居ても疲れがさほどない造りです。2人介助でも「トイレで」をめざして繰り返したところ、立位もとれるようになり、1人介助で大丈夫となった利用者もいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	緩下剤を服薬しなくても排便があるよう、食物繊維を多く取ってもらったり、適度な運動をしてもらっている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	なるべく希望に沿って入浴してもらっている。入浴剤を使用し、季節によってはショウブやゆずなども入れて楽しんでいただいている。	3方向から介助することができる一般浴槽で、指の間など細かい部位まで洗身できるグローブ式の用具が使われています。冬季は肌の乾燥がおさまるよう浴剤を入れたり、利用者のお宅からもらったゆずを入れて冬至気分を味わう日もあります。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの習慣、その時の状況に応じ、休息や睡眠をとっていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬している薬剤情報を共有し服薬支援、症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	暖かい日には、近所に散歩に出たり、コンビニ、スーパーに買い物に行くなどしている。毎日のゴミ捨ては役割となっている。ご家族の協力で、お墓参り、法事などに出掛ける方もいらっしゃる。	午前、午後1回ずつ、フロアや内階段での歩行訓練を位置付け、戸外の散歩も昨年から比べ増えています。職員が歌詞カードをつくり、曲も編集して歌をうたう時間がより楽しいものへと昇華しています。近くの店舗へ徒歩で買い物に行くこともありますが、ドライブ外出は花見程度です。	年間計画に外出企画が位置付けられていないため、検討を期待します。例. 初詣、莓狩り、紅葉狩り、運動会見学等

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に行った際は、ご自分の好きな物、必要な物を選び、ご自分の財布から支払えるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたり、手紙のやり取りが出来るよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快や混乱を招くような刺激がないよう配慮し、居心地良く過ごせるように努めている。	利用者製作のクリスマスリースを眺めながら、リビングに入るとドリップ式の珈琲の香りが立ち込め、また吹きだし口が4方向独立して稼働する最新式エアコンが目を惹き、リラックス感も高まります。職員がそれぞれお気に入りのエプロンを装着して、利用者も絵柄で覚えていたりします。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人で過ごしたい方は、自室に行かれたり、共有空間にあるソファで休まれる方もおり、思い思いに過ごすことができています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に持ってきた物、ご家族が持ってきた物で、その人らしい居場所を作ってもらっている。	バルコニーが建物を囲むように取り付けられ、富士ユニットからは雄々しい富士の山が迫り、また目の前に在る託児所からは愛らしい声が届いています。ベッドを下げた和式布団とほぼ同じ様式で転倒防止を図ったり、足元にモノを置かないようにしており、ゴミ箱も壁側につけてあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの出来る事、分かる事を活かし、出来るだけ自立した生活が出来るよう支援している。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2291200034		
法人名	株式会社 ユニマット リタイアメント・コミュニティ		
事業所名	御殿場ケアセンターそよ風 富士ユニット		
所在地	静岡県御殿場市萩原122-13		
自己評価作成日	平成28年11月30日	評価結果市町村受理日	平成29年2月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kairokansaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JiryouvoCd=2291200034-008&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kairokansaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JiryouvoCd=2291200034-008&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	平成28年12月11日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

食事は、バランスや利用者様の好みを考え、お一人おひとりにあった形状で提供させていただいています。食事量の減っている方には高カロリー食品などを適宜ご提供し体力低下防止に努めています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

バルコニーが建物を囲むように取り付けられ、富士ユニットからは雄々しい富士の山が迫り、また目の前に在る託児所からは愛らしい声が届いています。ドリップ式の珈琲の香りが立ち込めたリビングでは、「静岡の人は舌が肥えているから」と前管理者時代から導入した味わい深い小野園の高級茶やゆず茶もゆめ、また職員がそれぞれお気に入りのエプロンを装着することから利用者も絵柄で覚えての和みの空間が広がります。今年度は「食事による健康管理」を重点的な取組みとしていて、正しい姿勢をとることで誤嚥を減らし、高栄養による身体づくりに励み、「風邪による体調不良が例年より減る」との結果につながっています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で作った理念を共有し、実践に繋げている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域行事には、できる範囲で参加させて頂いている。近隣の方とは、散歩など外出の際に日常的に挨拶を交わしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括や民生委員さんを通じて、地域の活動に役立てることはないかを話し合い、取り組んでいる。また家族会などでは、介助方法や認知症の方の対応などを相談されることもあり、答えている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヶ月に一度必ず開催し、現状報告、話し合いを行い、サービス向上に活かしている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市役所は近隣にある為、日頃から連絡を取り、わからない事、協力してもらいたい事などを伝え、関係を築いている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部研修を積極的に受け、内部研修で職員全員への落とし込みを行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修を積極的に受け、内部研修で職員全員への落とし込みを行い、虐待防止に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修会への参加、施設内の勉強会などで話し合い、理解を深められるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約、改定等は、十分に説明し理解していただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や運営推進会議などで話し合い、運営に反映している。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議、ユニット会議などで話し合い、運営に反映している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に数回の個別面談を行い、個々の努力、実績などを話し合い、向上心を持って働けるよう、評価をしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修を受け、施設に持ち帰った資料を配布し施設内研修で落とし込みを行い、知識を深めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の研修、会議に参加したり、市主催の連絡会などに参加し相互古流を行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人が困っている事、不安な事、要望等を聞き安心した生活ができるよう、関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の困りごとや不安に思っている事に耳を傾け、要望等に応えられるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、計画作成担当者がご本人の必要としているサービスを見極め、サービスを検討している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的な介護ではなく、共同生活の中で関係を築けるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族からの情報を頂き、ご本人の状況を報告しながら、共にご本人を支えていく関係を築けるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や友人などの面会は制限せず、いつでも来ていただいている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりが孤立せず、関わり合い、支え合えるような支援に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても必要に応じて、ご本人やご家族のフォローを行い、相談、支援に努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや要望は、日常の会話から聴き、実現に努めている。職員間の情報共有を行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族、ご本人からの情報で把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身状態、有する力等の把握に努め、職員間で情報共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族、関係者と話し合い、それぞれの意見を反映し介護計画書を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月に一度の支援経過、3ヶ月毎のモニタリングを元に職員間で話し合い、計画書の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族の要望、意向に沿った形で柔軟に支援に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人、ご家族や近隣の民生委員さん、地域包括から情報を提供していただき、地域行事に参加、交流させていただいている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の訪問診療があり、日々の健康管理ができています。また、かかりつけ医への受診は、ご家族が対応されているが行けない時には管理者が対応している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	DSと兼務の看護師がいるので、個々の状況を伝えて対応してもらっている。また協力病院の担当看護師が急な受診など対応してもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力病院に担当看護師、SWとの情報交換を密に行い、治療内容、退院時期、退院後の対応など細かく伝えてもらうなど、良好な関係ができています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に十分に説明している。終末期のあり方についても状況に応じ、話し合っている。必要に応じ、往診時にご家族に同席していただき、Dr.に説明していただいている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルは掲示しており、年に数回研修を行っている。毎年、数名が救命講習を受けられるようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練、地域の防災訓練にも参加させていただいている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけ、対応に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いを受け止め、自己決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、個々の希望に沿った過ごし方を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時、外出時など整容の支援、定期的に散髪なども行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の好みなどを聞き、また、季節のものやバランスを考え提供している。出来る方には、一緒に調理していただき、食事、片付けも一緒に行っている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は毎食記録し、栄養バランスを考えた食事を提供している。一人ひとりに合わせた形状と食事量の減っている方には、高カロリー食品、むせのある方にはゼリー飲料を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは行っている。出来ない方は介助し、義歯は毎夜消毒している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりに合わせたトイレ誘導、介助を行い不快なく過ごしていただけるように支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	緩下剤を服薬しなくても排便があるよう、食物繊維を多く取ってもらったり、適度な運動をしてもらっている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	なるべく希望に沿って入浴してもらっている。入浴剤を使用し、季節によってはショウブやゆずなども入れて楽しんでいただいている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの習慣、その時の状況に応じ、休息や睡眠をとっていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬している薬剤情報を共有し服薬支援、症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	暖かい日には、近所に散歩に出たり、コンビニ、スーパーに買い物に行くなどしている。毎日のゴミ捨ては役割となっている。ご家族の協力で、お墓参り、法事などに出掛ける方もいらっしゃる。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に行った際は、ご自分の好きな物、必要な物を選び、ご自分の財布から支払えるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたり、手紙のやり取りが出来るよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快や混乱を招くような刺激がないよう配慮し、居心地良く過ごせるように努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人で過ごしたい方は、自室に行かれたり、共有空間にあるソファで休まれる方もおり、思い思いに過ごすことができている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に持ってきた物、ご家族が持ってきてもらった物で、その人らしい居場所を作ってもらっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの出来る事、分かる事を活かし、出来るだけ自立した生活が出来るよう支援している。		